


(様式第2号)

会派政務調査活動（行政視察）報告書
（総括）

会派名	新政会
会派の代表者名	橋本五郎 
視察（調査）期日	平成29年7月27日（木）～平成29年7月28日（金）
視察（調査）先	石川県小松市
視察（調査）の目的 (大仙市の現状と 選定理由等)	中仙道の西Rでトトラの加工施設を稼働するに あたり 農産物の品質を向上させることと関係する ため 石川県小松市の取り組みを視察した
視察（調査）の行程	別紙のとおり
視察（調査）への 参加議員名	橋本五郎、沓澤清吉、小松菜治 茂木隆、小山緑郎、渡辺秀俊
視察（調査）概要	小松市議会事務局より議会の動向の説明、 行政、JA、建設業界の中心となる事業の 説明を受け、この中で「アグリ」の 説明を受け、商品を見せられた。

視察(調査)の成果
と本市に反映でき
る事項或いは反映
させたい事項につ
いて

- 地元農産物とCO₂-レバニはし。1100、24又
雑乳食。流卸食業への利用を促す。
- 学校給食に積極的に取り入れる
- 211効果は農業経営に向けJAと建設機械
コソウの協同トマトのICT化を推進し
計画的に精度の高い生産を目指すという
- 11枚産の農林産物を使用し安易供給の可能
は加工食品、飲料と書類審査、試食審査で
「こまもんブランド」と認出し、市内外への普及を
図る。

そ の 他

(会派としての総
括的意見、上記成
果への今後の取り
組み等)

- CO₂-レバニはし加工品よりCO₂-レバニはし
飲料、食品の開発の年と進捗に順調
に推移している
- 規格外農産物の引取211により農業に
喜ばれている。
- トマトのICT化の推進は1100と自給の
11規模は互に苦戦している模様。
CO₂-レバニはし211はCとCと大規模1100と211
対応の急がれる。

農産物、特に規格外品の冷凍加工取付の
本市の苦戦しているCO₂-レバニはし
1100と211の食品に加工しようとしている
量販店の厳しい状況。